

E 下地補修工事

1 下地調査、マーキング

補修工事の前に、コンクリート、3階以下のタイルなどにヒビ割れがないか点検し、必要な個所にマーキングし監理者の指示を受けます。

2 高圧洗浄

壁面の塗装前に、高圧(水圧120~150kg/cm²)洗浄します。

表面が塗装なしのコンクリートの場合は、洗浄剤を使用します。又、屋内階段はエアブローで掃除し塗装が行われます。

3 下地補修工事

コンクリートなどの割れ部分は補修し、プライマーなどを塗布します。

4 シーリング工事

建物の継ぎ目部分や、玄関のドア枠、窓枠の周りにシーリングで雨や湿気の侵入を防いでいるが、長年の間には劣化するため古いシーリング材を除去し新しいシーリング材を打ち直します。

各住戸のバルコニー、ルーフバルコニー、サービスバルコニーに面したガラス戸枠のシーリング工事を行います。

但し、今回はドア枠や共用廊下側のガラス戸枠のシーリング工事は行いません。